

# 令和5年度美濃市図書館協議会 議事録

○日 時 令和5年5月26日（金）14:00～15:20

○場 所 美濃市図書館 3階学習室

○出席者 委員：山口委員、雲山委員、古田委員、長井委員  
市側：曾貝人づくり文化課長、川合課長補佐兼図書館長、小澤主事、司書3名、

## 1. 開会

## 2. あいさつ

## 3. 協議事項

(1) 令和4年度支出状況及び事業報告

(2) 令和4年度図書館利用状況等

(1)及び(2)について事務局説明

(意見) 開館時間がずっと同じだが、本を借りに来ている方の年齢層や時間帯をみて開館時間を変更してみるといいのではないかと。

(意見) 人気図書等のデータを公開して若い世代まで幅広く届くように工夫をするとうい。

(回答) 図書館ホームページがリニューアルしたことに伴い、本の予約をインターネット上で予約や検索ができるようになり、人気の本もわかるようになっている。

(意見) 保育園の子育て支援の中で読み聞かせのお手伝いをしている。コロナ前は多くの方が参加してくれていた。保育園の催し物で読み聞かせなどをやっているが、多くの方が集まるイベントよりゆったり集まれる図書館での読み聞かせがいいという人も多いが、この3年間で開催数が減って読み聞かせから遠のいてしまった。

子どもの絵本離れが進まないように保育園からのプレゼントは全て絵本にしている。また、保育園の外で読み聞かせをするイベントも開催しているが、参加者が減ってきている。チラシを配っての周知よりも SNS 等を活用する方が保護者に見えていただけると。

(意見) 年間ベストリーダーの中にある「～のサバイバル」というのは何か。

(回答) 「サバイバルシリーズ」という小学生にとっても人気なシリーズになっています。

(3) 令和5年度図書館予算及び事業報告について

(4) マイナンバーカードを活用した図書貸出サービスの向上について

(1) 及び(2)について事務局説明

(意見) 以前に図書の本を電子管理するために膨大な作業量があったと記憶している。今後、名作文学等は電子書籍で網羅されていくのか。

(回答) どのような本を用意するのかは、選書をする際に決定する。契約すると全て見れるようになるようなセットではない。

(意見) 郷土資料を電子化できれば若い世代も簡単に見れるようになり、郷土史に触れる機会が身近になるのでいいと思う。また、デジタル環境は日々変化しているが、便利なデジタル媒体だけでなく、紙媒体の本を残せるようにしていきたい。

(回答) 移動図書館などで各学校を訪問して紙媒体の本に慣れ親しんでもらえるように活動をしているので、続けていきたい。

(意見) 図書館でのマイナンバー連携を実施している市町村は他にどれくらいあるのか。導入するのはいつごろから始まるのか。

(回答) 連携をしている市町村は後ほど回答させていただきます。マイナンバー連携等の導入は今年の秋10月頃を予定しています。

(意見) 以前郷土史などの調べ物にかなり時間がかかった。郷土史について電子化して見やすくして頂けると大変助かる。

(意見) 保育園として電子関係はあまり関係ないが、郷土史を電子化されて見やすくなれば便利だと思う。

若い世代のお母さんは図書館という場所に行く敷居が高い。子供のうちに図書館は楽しい場所であると認識させて図書館に親しみが持てるようにしたい。

(意見) 子どもたちに図書館の雰囲気を知ってもらって親しんでもらうことは大切だと思う。電子化などはよく分からないが、今まで通り図書カードを活用していきたいと思う。

#### 4. その他

(意見) 読み聞かせスペースの紙芝居台があるのに壊れていて使えないので、直してもらえないだろうか。

(回答) 紙芝居台は事務所に言っていただければ貸出用がある。読み聞かせスペースにあ

る物は子供たちが玩具にして壊れてしまった経緯があるので、使えるようにすると玩具にして遊んでけがをする恐れがあるのでそのままにしている。

## 5. 閉会